



ご挨拶

本日は、“*A-Winds 41*”2013年秋の演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。「一人ひとりが創り出す町、歴史と文化が暮らしの中に息づく斑鳩の里」の歴史文化交歓の場、“いかるがホール”にて皆様方にこうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds*団員一同、心より感謝申し上げます。

1999年10月“アンサンブル”という少人数の音楽スタイルの延長線上に位置付け、大人数編成の“ウィンドオーケストラ”と称し、遷都1300年の歴史を誇る奈良の都に発足しました。同年の秋に初の舞台“デビュー演奏会”をこの“いかるがホール”にて開催、以後四季折々に開催する*A-Winds*の定期演奏会も、第41回目を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の活動そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今回は世界を舞台に大活躍されている作曲家、そしてその類い稀なる音楽の才能はその分野にとどまることなく、指揮者としても活躍されている高昌帥氏を客演指揮者にお招きし、吹奏楽オリジナル曲に加え、マーチ、ポップスクラシックの各ジャンルの曲目を、作曲家の観点ならではの“スコア(総譜)に描かれた全ての音符と、作曲家の想いの再現”として高昌帥氏の渾身のタクトで披露致します。

指揮者と舞台と客席が一体となったこの音楽が、いつまでも皆様の心の中で鳴り響き、遙か遠く先の歴史の一頁になればと願いを込め、一句詠ませていただきます。

一振りの 魔法にかかる *A-Winds*♪

今後とも、温かい御指導御支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

*

本日は、“*A-Winds 41*”2013年秋の演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。前回めでたく40回の節目を迎えた私たちですが、今回の41回目の演奏会からはまた新たな気持ちで一歩一步前進していきたいと思います。

今回の演奏会は、「いつもと違う*A-Winds*」をテーマに、吹奏楽曲の王道から複雑で個性的な現代曲まで、様々なジャンルの曲が組み込まれたプログラムとなっております。これまで演奏したことがない曲がほとんどなので、皆様には新鮮な気持ちで楽しんでいただけると思います。団員一同、心を込めて演奏いたしますので、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

最後に、本公司開催にあたり関係各方面よりご支援賜りました事を、演奏会実行委員を代表して心より御礼申し上げます。

“*A-Winds 41*”2013年秋の演奏会 実行委員長 浦野佳美・米田彩乃



ご案内

“*A-Winds 42*”2014年春の演奏会

2014年3月9日(日) 14:00開演 やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds 42*”2014年春の演奏会では、トロンボーン奏者 松下浩之氏と*A-Winds*が共演します！

「松下浩之氏と*A-Winds*でつくる演奏会」とし、松下氏指揮による演奏はもちろんのこと、トロンボーンの演奏もじっくりお楽しみ頂けるプログラムを用意しています。

団員一同、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

“*A-Winds 42*”2014年春の演奏会 実行委員長 森本幸恵・岸本和



*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Flute & Piccolo

佐藤 由加里
佐藤 司
魚谷 陽子
大西 このみ

Oboe

桶谷 牧子

E♭ & B♭ Clarinet

長尾 恒子
竹村 明恵
森本 幸恵
日野上 昌里佳
近藤 晴美
米田 彩乃
上野 彩香

Alto Clarinet

大西 晴己

Bass Clarinet

辻田 紗子

Bassoon

満江 孝文
萱原 美華子

Alto Saxophone

島田 博一
八木 理

Tenor Saxophone

初岡 和樹

Baritone saxophone

伊藤 耕平☆

Horn

久野 耕三
大田 雅美
佐伯 直人
富川 陽太
村上 和代☆

Trumpet

魚谷 昌克
表 恒子
竹腰 綾香
井上 寛治
谷田 弥生
鎌田 麻友
山本 洋介

Trombone

萱原 淳嘉(休団)
小泉 文浩
進藤 梓
田中 由美
木下 真由美

Euphonium

藤村 晃世
尾登 勇介
池内 砂織

Tuba

岸本 和
稻田 隆治☆

Contra Bass

佐藤 良一

Percussion

谷口 麻子
久保 寛美
川本 理恵
松嶋 春香
浦野 佳美
梶本 雅子

Piano

八木 真木

Stage Manager

河津 雅之

Announce

境 貴子

団員=46名

☆=エキストラ／3名

“*A-Winds 41*”2013年秋の演奏会 実行委員

実行委員長	浦野佳美 米田彩乃
宣伝(チラシ)	島田博一
宣伝(ミニレター)	上野彩香
宣伝(ウェブ)	尾登勇介
宣伝(マスコミ)	森本幸恵
涉外	浦野佳美
印刷	佐藤 司



2013年10月27日(日) 13:30開場／14:00開演
いかるがホール 大ホール

主催・*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

後援・奈良県・斑鳩町・斑鳩町教育委員会・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



プログラム & プログラムノート

第1部 指揮者：魚谷昌克

行進曲 キング・コットン/King Cotton March

作曲:ジョン フィリップ スーザ/J.P.SOUSA

出版:TOA MUSIC INTERNATIONAL CO.

この曲は作曲者スーザの十大マーチのうち一曲で、1895年にアトランタで行われた「国際綿花博覧会」の依頼で作曲されたマーチです。曲中に流れるメロディーはとても軽やかで同時に力強さを感じるという不思議なメロディーとなっています。作曲者のジョン・フィリップ・スーザといえばアメリカ合衆国の「国の公式行進曲」(National March)に制定された「星条旗よ永遠なれ」がよく知られています。100曲をこえる行進曲を作曲した、マーチ王による不思議なマーチをお楽しみください。

レ・ミゼラブル セレクション/SELECTIONS FROM LES MISÉRABLES

編曲:ウォーレン バーカー /WARREN BARKER

出版:Editions Musicals Alain Boublil

昨年、世界43か国で上演されたあの大ヒット作品の劇中歌を厳選し、一曲に仕上げた作品で、各フレーズにちりばめられた美しいメロディーをソリストたちで紡いでいきます。

舞台は格差と貧困にあえぐ民衆が自由を求めて立ちあがろうとしている19世紀フランス。主人公ジャン・バルジャンは、パンを盗んだ罪で19年間投獄されます。

仮釈放されたものの生活に行き詰った彼は、再び盗みを働きますが、その罪を見逃し赦してくれた司教の真心に触れ、身も心も生まれ変わろうと決意。マドレーヌと名前を変え、市長の地位に上り詰めます。

そんなバルジャンを執拗に追いかける警官のジャバール。そして、不思議な運命の糸で結ばれた薄幸な女性ファンテヌ。彼女から愛娘コゼットの未来を託されたバルジャンは、ジャバールの追跡をかわしてパリへ逃亡し、コゼットに限りない愛を注いで父親として美しい娘に育てあげます。

そんな中、パリの下町で革命を志す学生たちが蜂起する事件が勃発し、誰もが激動の波に呑まれていくのです・・・。

At The End of The Day ～一日の終わり～

I Dreamed a Dream ～夢やぶれて～

Master of The House ～宿屋の主人～

On My Own ～一人ぼっち～

Do You Hear The People Sing? ～民衆の歌が聴こえるか?～

カンタベリー・コラール/CANTERBURY CHORALE

作曲 ヤンヴァンデル・ロースト/Jan Van der Roost

出版:De Haske Publications

この曲はベルギーの作曲者ヤンヴァンデル・ローストが、イングランド南東部ケント州にある英国国教会の総本山、カンタベリー大聖堂を訪れた際に得たインスピレーションを基に作曲されました。コラール (Chorale) とは、もともとルター派教会にて全会衆によって歌われるための贊美歌で、専門の合唱団ではなく教会に集まつた会衆の人々が歌うものとして考えられていたために、多くの場合歌うのが容易になるよう旋律は単純にできています。ステンドグラスに彩られた礼拝堂の敵かな霧囲気の中、美しく澄んだメロディーに心を委ねてみてはいかがでしょうか。

客演指揮者：高 昌帥

ヴェスヴィアス/VESUVIUS

作曲:フランク・ティケリ/FRANK TICHELI

出版:Manhattan Beach Music

フランク・ティケリは、数年前からアメリカを中心に人気が高まり、最近日本でも注目され始めた若手作曲家です。これまでの彼の作品は、複雑な現代曲風なものが多くたのですが、1999年に作曲されたこの作品は、中間部に美しい旋律を持ち、少し作風の異なる作品になっています。「ヴェスヴィアス」とは、イタリアにある火山（日本語ではベスビオ山と呼ばれる）で、西暦79年の大噴火により、その山麓に栄えていた古代都市ポンペイを壊滅させたことで知られています。この曲は、そのポンペイの最後の一日を描いたもので、前半部ではこれから起こる災難の予感、中

間部ではポンペイの文化の高さ、そして後半部では大噴火による都市の壊滅、ポンペイの町や逃げ惑う人々の不安な様子が変拍子を多用して表現されています。それぞれの情景を思い浮かべながらお楽しみください。

第2部 客演指揮者：高 昌帥

祝典への前奏曲/PRELUD TO A CELEBRATION

作曲:フィリップ・スパーク/Philip Sparke

出版:Anglo Music Press

この曲は大阪にある「泉大津市吹奏楽団」が結成40周年を迎えるにあたり、スパークに作品を依頼し、完成した曲です。トランペットの敵かでゆったりとしたファンファーレにより幕を開けるこの曲は、続くアップテンポで楽しげなメロディー、中間部ののびやかで雄大なメロディーなど、曲のいたるところにかわいらしい旋律や美しい旋律、少しおどけたような旋律などがちりばめられ、まるで作曲者スパークによる「旋律の宝庫」のような曲となっています。是非お気に入りの旋律を探してみてください。

POPOPOPO《はとっぽの世界旅行!》/POPOPOPO

編曲:杉浦邦弘

出版:Brain Co.

「POPOPOPO」は、童謡で文科省唱歌の「鳩（通称“はとっぽ”）」のメロディーが、世界中のいろいろな音楽にのって“世界中を旅する”というイメージのとても楽しく凝った作品に仕上がっています。それぞれの国でどの楽器が活躍するかはお楽しみに！！それでは登場する国を順番に。

壮大なファンファーレから始まり、最初の国は…

☆チェコ！！こちらはチェコ出身の偉大な作曲家、ドヴォルザークの「交響曲第8番」をモチーフに。

☆アメリカ！！グレン・ミラーの「イン・ザ・ムード」をお手本に、本場のジャズをとり入れています。ジャズと言えば、あの楽器ですね！

☆ロシア！！こちらもロシアの作曲家、ショスタコヴィッチの「革命」をモチーフに、最後はロシア民謡の「カチューシャ」風の仕上がりに。

☆イギリス！！こちらはイギリス民謡「I love my love」風に。あの楽器の甘い音色に癒されること間違いなしです！

☆スペイン！！フアリヤの「三角帽子」をモチーフに、あの楽器が活躍します！

旅もこれが最後に。最後はやっぱりこの国！！次のオリンピック開催地でもあります、

☆ブラジル！！ブラジルといえば、サンバ！！サンバといえば、やっぱりあの方たち！

最後は軽快に、会場を盛り上げてくれことでしょう。はとっぽと一緒に世界中を旅してみませんか？

吹奏楽のためのラメント/LAMENT for Wind Orchestra

作曲:高 昌帥/Chang Su KOH

出版:All Japan Band Association

音楽で、ラメントは悲しみの歌を指し、日本語では哀歌（あいか）、嘆き歌（なげきうた）、悲歌（ひか）、挽歌（ばんか）と訳されます。

この曲「吹奏楽のためのラメント」は、客演指揮者である高昌帥氏によって作曲されたものであり、第12回朝日作曲賞に選ばれ、全国の中学校・高校・大学・職場・一般の吹奏楽団、およそ1万団体が参加する全日本吹奏楽コンクールの2002年度課題曲の1つとして出版・演奏されました。

第六の幸福をもたらす宿/The Inn of the Sixth Happiness

作曲:マルコム・アーノルド/Malcolm ARNOLD

編曲:瀬尾 宗利

出版:B.Feldman Co.

この曲は「六番目の幸福」という邦題の映画音楽を担当したアーノルドが同映画をテーマに作曲した映画音楽です。この映画は第二次世界大戦下、日本軍に侵攻される中国の小さな村カンチエンを舞台に、宣教師として赴任した英國人女性グラディス・エイルワードが多くの困難に立ち向かっていく実話に基づいています。中国では古来より人間には「長寿・富貴・健康・徳行・天寿」という五つの幸福があると

されており、劇中ではその人だけが見つけることができる「第六の幸福」があるとされています。第一楽章「ロンドン・プレリュード」では映画冒頭に主人公グラディスがロンドンのヴィクトリア駅へ到着する場面、第二楽章「ロマンティックインタリュード」ではグラディスと中国軍将校リン・ナンが次第に惹かれあう場面、第三楽章「ハッピーエンディング」では西安を目指して山道を進むグラディス一行に立ちはだかる困難、子供たちの歌、そしてエンディングという映画の後半の場面が描かれています。特に第三楽章で出てくる、日本では“マザーグースのうた”として知られるイギリスの伝統的童謡の一つ、“ディス・オールドマン (This Old Man)”のメロディーが特徴的で、この主題の繰り返しは力の広がりを表しており、グラディスと子供たちが無事に目的地に到着するシーンを描写しています。

プロフィール



高昌帥（コウ・チャンス）

大阪音楽大学作曲科卒業後、スイス・バーゼル音楽アカデミー留学。これまでに作曲を田中邦彦、R.ケルターボーンの各氏に、指揮をJ.マイヤー氏にそれぞれ師事。第5回吹田音楽コンクール作曲部門一位無しの二位 第13回名古屋文化振興賞作曲部門佳作 第1回コダーイ記念国際作曲コンクール佳作 第12回朝日作曲賞受賞（2002年吹奏楽コンクール課題曲『ラメント』）

第1回COMINES-WARNETON国際作曲コンクール「イヴ・ルルー賞」受賞 平成20年度JBA「下谷奨励賞」受賞 第19回吹奏楽アカデミー賞作・編曲部門受賞 平成24年度JBA「下谷奨励賞」受賞 現在、大阪音楽大学准教授。

関西現代音楽交流協会、21世紀の吹奏楽“饗宴”各会員。プロ・アマ問わず多数の委嘱を受け、管弦楽・吹奏楽・室内楽など様々な編成の作品を作曲する傍ら、現代音楽の指揮、アマチュアオーケストラや市民バンドの指導にも携わる。代表作に、ソプラノ独唱とバリトン朗読、オーケストラのための「あなたに」（初演：ザ・シンフォニーホール）、打楽器ソロと吹奏楽のための協奏曲「雷神」（初演：カーネギーホール）、パリントンとピアノのための、谷川俊太郎の詩による「コラージュ」（初演：トントレフ・ヒコ）



A-winds メンバー募集

●募集パート

• Oboe * • Bassoon • Bass Clarinet • Baritone Saxophone

• Contra Bass • Percussion • Stage Manager ————— 各1名

• Tuba • Horn ————— 各2名

• Bb Clarinet ————— 各3名

* イングリッシュホルンもお持ちの方、大歓迎です！もちろんオーボエのみでご希望の方も、お待ちしています。まずはご相談ください！

● A-winds の活動趣旨（ウインドアンサンブル＆オリジナル重視）に賛同頂ける方

● ご自分で楽器を準備できる方 ● 全ての活動に賛同頂ける方

● 18歳以上の方 ● 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp

募金のお礼と御報告

A-winds では演奏会開催毎に「東日本大震災の義援金」を募らせています。これまでに、2012年11月4日開始のA-winds 38では26,407円の、2013年3月3日開催のA-winds 39では5,733円の、2013年6月23日のA-winds 40では3,228円の募金をお預かりさせていただきました。

皆様からいただいた貴重な義援金はA-winds が責任を持って日本赤十字社の義援金受付口座に全額を振り込ませていただきました。

ご協力本当にありがとうございました。募金いただいた多くの方々に団員一同厚くお礼申し上げます。